

会議録（要旨）

会議名等	令和4年度当事者会 12月定例会	文責	障がい福祉室
日時	令和4年12月15日 午後1時30分～3時30分	場所	総合福祉会館3階 研修室
当事者会において取り組む事項について協議			
1. 当事者会として検討したいテーマの選定について 【協議事項】			
(1)これまでに出示された内容以外のテーマについて意見交換			
(2)テーマについてカテゴリー分け(グループワーク)を実施する。			
・ガイドヘルパーについて、支援学校に通う小学生の利用等、支給について検討してほしい。			
・吹田市の防災関係の研修のチラシに手話通訳派遣はないとの記載がある。聴覚障がい者を拒絶する姿勢は改める必要がある。			
・公共交通機関は、車いす利用者にとっては、合理的配慮に欠けると思われる場面が多い。 バス利用での乗車拒否がある。			
・多機能トイレが店の2階にあり使用しにくい、条例に基づいていると説明がある。 条例を見直す必要もある。			
【(2)に対する意見】			
『Aグループのカテゴリー』			
・高齢期、学齢期(教育)、暮らし・生活、移動、社会参加、就労、防災、啓蒙・啓発、住まい、医療、ネットワーク、その他の12カテゴリーに分類			
『Bグループのカテゴリー』			
・暮らし、啓蒙・啓発・広報、親亡き後、障がい者差別、制度、資源不足、ネットワーク、当事者、防災の9カテゴリーに分類			
『両グループからの意見』			
・啓蒙・啓発に関する意見が多く、当事者会が活動していくことが必要			
・一つの障がいについて取り上げても、障がいが違うとついていけないことがある			
・視力障がいの中でも、先天的なものや中途障がいでは困っていることや課題が異なる			
・生活や困りごとをもっと掘り下げて、細かい課題にも気づかないといけない			
・カテゴリー分類した内容を地域課題として検討し、全体会・施策推進専門分科会に報告・共有する。			
『両グループのカテゴリー分類を整理』			
2. 司会の輪番制の検討			
次回に持ち越し			